

帝京大学八王子キャンパス・帝京大学短期大学 地域貢献活動報告 2020



多摩市との連携に関する基本協定書を締結

本学は、2020年4月1日に東京都多摩市と、連携に関する基本協定を締結しました。八王子キャンパスは、多摩市に一部立地しており、すでに災害時における避難所などの確保のための協定を締結しています。

また、これまでも連携事業の実績が多く、「多摩市観光まちづくり交流協議会」への参画やインターンシップ・実習生の受け入れ、児童館イベントの企画・運営補助等を行ってきました。

今後、連携に関する基本協定の締結を機に、さらに連携を深め、地域課題と大学の研究内容を結びつけるしくみづくりを共に行い、運用することで、さまざまな課題解決に向けた取り組みを進めていきます。

学生チャレンジ制度

学生チャレンジ制度は、学生が挑戦したいプロジェクトを自ら企画・立案し、社会貢献や地域貢献、SDGs達成に向けた取り組みなどに繋がる、学生ならではの発想を生かした自主的・主体的な活動を募集し、学内選考を経て採択されたプロジェクトに大学から助成金を支給し、活動を支援する制度です。

2020年度は以下の2つのプロジェクトが採択され、活動を実施しました。

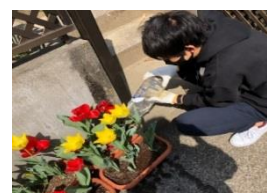
1) 帝京オンライン国際交流フェスティバル 2020 : Guma' Famagu'on Tano' Yan i Tasi (グマファマグオン タナニヤシ)

2020年11月22日(日)、本学八王子キャンパス ACTrium (アクトリウム) にて、Zoom ミーティングを利用したオンライン国際交流フェスティバルを実施しました。本団体は、グアムの先住民族チャモロとの国際交流やダンスパフォーマンスを通して、グアムの歴史、文化、自然環境観を学んでおり、そのダンス演目の多くには海や陸の環境や資源を守ることが謳われています。本イベントは、SDGsの「14 海の豊かさを守ろう」「15 陸の豊かさを守ろう」を主テーマとし、SDGsの理解を深めるためのクイズやSDGs関連のスピーチ、チャモロダンスのパフォーマンスを行いました。



2) 日野市の空き家活用プロジェクト : 経済学部今野ゼミ

少子高齢化や人口減少の進行する地域の再生・課題解決を目的として、日野市の空き家を地域のコミュニティスペースとして活用することを目指すプロジェクトを開始しました。日野市都市計画課および空き家の所有者の方にご協力いただきながら、今年度は、地域の方との意見交換や空き家の清掃を中心に行いました。新型コロナウイルス感染症の影響で予定していたイベントは実施できませんでしたが、コミュニティスペースとして活用していくための準備を今後も計画的に進めていく予定です。



ひらめき☆ときめきサイエンス

2020年11月7日(土)、本学八王子キャンパスにて、『ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI』を実施しました。『ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI』とは、大学や研究機関で「科研費(科学研究費)」により行われている最先端の研究成果について、小中高生が直接体験することで、科学のおもしろさを感じてもらおうプログラムです。

今回は、初等教育学科の中山京子教授により、『人種』はいくつ?地球儀を使った旅と身体表現を通じてヒトの営みを考えよう!』をテーマに、人種や民族について学びました。

参加者は、地球儀にテープを貼ったりペンで描いたりしながら、人類の移動をたどったり、グアムに住むチャモロの人の外見の多様性やDNA分析研究の一部を学んだりしました。さらにチャモロの神話や曲に触れ、チャモロに関連するデザインが施されたパレオを着用しダンスを踊る体験を通して、ヒトの営みを観察することや文化人類学について学びました。

プログラムの最後には、学びを整理し、それぞれが成果発表を行いました。その後全員に「未来博士号」が授与され、プログラムを無事に終了することができました。



教育共同研究補助制度・教員育成プロジェクト

本学八王子キャンパスでは、2009年度に教職大学院を設置するなど、教員の養成に力を入れております。その理念は「理論と実践の融合」であり、これは学生だけではなく、現職教員の育成においても当てはまります。

本学では、2008年度より近隣の小中学校と共同で、テーマを決めて研究を行い、今日の学校教育が抱える課題の解決に取り組んでいます。本学の教員が小・中学校を訪問したり、学生がアシスタントとして参加したりと、「理論と実践の融合」に基づいた研究を展開しています。

また、2013年3月には、多摩市教育委員会と、学校教育の充実・改善および実践的指導力を身につけた教員の育成を期した「教員養成プロジェクト」を創設し、研究活動を実施しています。多摩市教育委員会によって指定された小学校を研究校とし、学校経営、学習指導・評価、生徒指導、特別支援教育、地域連携、生涯学習にかかることを共同研究の対象としています。

今後も、学校における教育課程の改善とすぐれた教員の育成・養成に資する研究活動に注力していきます。

《教育共同研究補助制度》

学校名	研究テーマ
多摩市立諏訪小学校	自分の考えを表現することができる児童の育成 ～文学的な文章を読むことの指導を通して～
多摩市立大松台小学校	自ら考え、問題解決しようとする児童の育成 ～児童の主体的な学びを目指す授業づくり～
八王子市立由井第一小学校	「あなたのみちを、あるけるまち。八王子」 ～新しい生活様式の中での、学びに向かう力を育む学校づくり～ ICTを活用した対話的活動の指導法の工夫
町田市立成瀬台中学校	ICT活用をとおした若手研修
横浜市立石川小学校	自他を尊重し、共に未来を創る集団の育成 ～思いを広げて互いに伝え合うことができることを目指した授業づくり～
東村山市立東村山第七中学校	自ら考え、その考えを伝えることができる生徒 ～キャリア形成に必要な基盤となる能力の育成を目指して～

《教員育成プロジェクト》

学校名	研究テーマ
多摩市立東寺方小学校	明日をつくる子の育成・東寺方 ESD ～住み続けられる町づくりを目指して～

帝京ライフロングアカデミー

本学八王子キャンパスでは、「帝京ライフロングアカデミー」と称し、多彩な学問分野をテーマとした公開講座を実施しています。誰もが参加できる生涯学習の場、地域社会との連携および交流推進の場、また本学の教育研究成果を広く地域社会に還元していく場としての役割を担っています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、「Zoom ウェビナー」を使用したリアルタイムのオンライン講座を開講しました。全12講座を開講し、延べ188名の方にご参加いただきました。

◇ 開講講座

今年度は、各講師の研究分野とSDGsとの関連についても説明しました。

No.	講 座	
1	自然災害と共存する祭礼～東京都三宅島の獅子舞に注目をして～ 講師：吉野 裕（文学部史学科 准教授） 日時：2月26日（金）10：00～11：00 受講者：8名	
2	会社の名前をどう付ける？～億万長者への道も一歩から～ 講師：首藤 優（法学部法律学科 准教授） 日時：2月26日（金）14：00～15：00 受講者：10名	   
3	ひらがなの無い時代の日本文学～『万葉集』の原文を読んでみよう～ 講師：馬場 小百合（文学部日本文学文化学科 助教） 日時：3月3日（水）10：00～11：00 受講者：23名	 
4	性的マイノリティと社会 講師：久木元 真吾（文学部社会学科 教授） 日時：3月3日（水）14：00～15：00 受講者：4名	
5	コロナ後の観光を考える～観光者の意識と行動の観点から～ 講師：花井 友美（経済学部観光経営学科 准教授） 日時：3月10日（水）12：30～13：30 受講者：19名	
6	江戸時代後期の開発経済論と国際化構想～本多利明（1743－1821）の卓見～ 講師：宮田 純（経済学部経済学科 准教授） 日時：3月10日（水）14：30～15：30 受講者：19名	
7	体力から考える共生社会～運動と健康で丈夫な筋と骨との関係～ 講師：蛭間 栄介（医療技術学部スポーツ医療学科 教授） 日時：3月11日（木）10：00～11：00 受講者：29名	
8	外国人とともに暮らすまちづくり～八王子の多文化共生を考える～ 講師：加藤 恵美（外国語学部外国語学科 講師） 日時：3月11日（木）14：00～15：00 受講者：12名	   
9	バイデン新政権の展望～米国政治の分断を修復できるか～ 講師：宮田 智之（法学部政治学科 准教授） 日時：3月12日（金）14：00～15：00 受講者：26名	  
10	新型コロナ禍下での親子の時間の過ごし方 ～子どものほめ方を学ぼう～ 講師：黒田 美保（文学部心理学科 教授） 日時：3月19日（金）10：00～11：00 受講者：7名	
11	年金のあれこれ 講師：上田 憲一郎（経済学部経営学科 教授） 日時：3月19日（金）13：30～14：30 受講者：21名	 
12	子どもの福祉（しあわせ）を考える 講師：大和田 明見（教育学部初等教育学科 講師） 日時：3月19日（金）15：30～16：30 受講者：10名	

◇ 受講者アンケート（回答数 163）

1) 帝京ライフロングアカデミーへの参加経験

はじめて	2回目	3回目	4回以上
35	38	29	61

2) 受講講座の感想

よかった	ふつう	よくなかった
133	27	3

多摩学

本学では、社会科学の専門教育科目として「多摩学」を開講しています。「多摩学」は、多摩地域と呼ばれる東京都 30 市町村を対象に、社会学を基軸とし、人口学や行政学などさまざまな専門分野から多摩地域の過去と現在を総合的に理解し、次世代の担い手として多摩地域の将来をデザインする力を養うことを目的としています。

講義形式ですが、単に地域の知識を身に付けるのではなく、地元・多摩をよりよくしようという「行動」に繋がる実践的な講義を目指しています。

今年度はオンライン授業となりましたが、立川市、府中刑務所、多摩信用金庫および多摩地域でご活躍する企業の方に講義資料を提供していただきました。

八王子学園都市大学

本学では、八王子市からの依頼に基づき、八王子学園都市大学（※）（愛称：いちょう塾）に教員を派遣し、講座を提供しています。

※八王子学園都市大学：八王子市と大学コンソーシアム八王子加盟の 25 大学・短期大学・高等専門学校及び企業や市民の方との協働により講座を開講する市民大学

講座名	担当講師
美しいかな書道入門（初級）	福井 淳哉 （文学部日本文化学科 准教授）
美しいかな書道入門（中級）	
美しいかな書道入門（上級）	
欧米映画とその時代—120 年の変遷を追いかけて ～誕生から 120 年、映画は時代とどう関わったか～	藤森 益弘 （短期大学 元客員教授）
「写真で巡る“世界あちこち・あれこれ” Part12 ～観光地、風景、世界遺産、歴史、土産物、食べ物等の紹介～	河野 正光 （経済学部 元教授）
ホスピタリティ＝“おもてなし”を日常生活に活かす！ ～仕事（職場）や学校・家庭・人間関係に活かす方法～	
写真とお話で紹介する歴史的な東西交易路“シルクロードの魅力” ～新疆ウイグル自治区“ウルムチ・ホータン・カシュガル”～	
欧州連合の財政・貿易とコロナ危機の影響 ～G ゼロ時代のパワーシフトの変化～	瀬藤 澄彦 （経済学部 元教授）
気軽に始める表現生活（鑑賞から表現へ） ～絵を観て知って描いてみよう～	大貫 真寿美 （教育学部 准教授）
芸術の楽しみ方 VII ～西洋美術の定番の主題をオペラ等も含め追う～	河村 錠一郎 （文学部 元教授）
新型コロナウイルスの感染防止法・抵抗力アップ法・発症対策 ～自分と家族を守るための科学者からのアドバイス～	大石 不二夫 （現代ビジネス学科 客員教授）

作成：総務・企画グループ
住所：〒192-0395 東京都八王子市大塚 359
TEL：042-678-3663
FAX：042-678-3538

※本報告における教員の所属・職位は 2020 年度のものであります。